

どう

違う?

1

「買ってきてもらった」と「買ってこさせた」

① 私は兄に薬を買ってきてもらった。② 父は兄にビールを買ってこさせた。

## ① ~てもらった

**意味** かんしゃ 感謝やうれしい気持ちを表したい場合あらわに使う。(Used when you want to show thanks or happiness. / 用于表示感谢或愉快的心情。/ 감사나 기쁜 마음을 표현하고 싶을 때 사용.)

**作り方** → 39 ページ 「① ~てもらった」

かぜ 風邪をひいたとき、兄に薬を買ってきてもらった。私は熱ねつがあつて起きられなかったので助たすかった。

## ② ~させた

**意味** し え き け い 使役形

→ 54 ページ 「使役文の作り方と使い方①②」

**作り方** → 53 ページ 「使役形の作り方」

▶ 「AはBを／にVせる／させる」

AがBに命令めいれいしたので、BはVする。命令したAが主語。

(A tells B to do something, so B does that thing. / A对B发出命令, B做出行动。主语是发出命令者A。 / A가 B에게 명령했기 때문에 B는 V한다. 명령한 A가 주어.)

先生は学生を立たせました。

父は兄にビールを買ってこさせました。

## ■■■ 練習 1. 正しいほうを選びなさい。

(1) 休日なのに、課長かちょうは部下ぶかを会社に ( a. 来てもらいました b. 来させました )。

(2) 同僚どうりょうに仕事を ( a. 手伝てつだってもらった b. 手伝てつだわせた ) ので、早く帰きたく宅たくできました。

(3) 母は私わたしに嫌きらいな野菜やさいを無理むりに ( a. 食くべてもらう b. 食くべさせる ) ので困こまります。

(4) お巡まわりさんに地図ちずを ( a. 書かいてもらった b. 書かせた ) ので、すぐ道みちがわかりました。

- (5) 課長は部下に遅刻の理由を ( a. 説明させました b. 説明してもらいました )。
- (6) 誕生日に友達にケーキを ( a. 作ってもらって b. 作らせて ) うれしかった。
- (7) 電車の中ではいつも子どもを ( a. 立ってもらいます b. 立たせます )。
- (8) 監督は選手たちに何度も同じ練習を ( a. してもらいました b. させました )。
- (9) 入院したとき、友達にお見舞いに ( a. 来てもらって b. 来させて ) うれしかった。
- (10) 医者は私に苦い薬を ( a. 飲んでもらいました b. 飲ませました )。

どう

違う? 2

## 「父が喜んだ」と「父を喜ばせた」

- ① 私が大学に合格したと聞いて、父が喜んだ。
- ② 私の大学合格のニュースは、父を喜ばせた。

### ① …が～した

**意味** 事実をそのまま表す。(Shows the state. / 客观地表达事实。/ 사실을 그대로 표현한다.)

そのニュースを聞いて、父がとても喜んだんです。

### ② …を～させた

**意味** 使役形

人の行動がきっかけで、ほかの人がある感情を持つ。

(Make another person have a certain feeling by their actions. / 因某种行为, 让某人产生某种情绪。/ 사람의 행동이 계기가 되어 다른 사람이 어떤 감정을 가진다.)

➔ 55 ページ「使役文の作り方と使い方③」

**作り方** ➔ 53 ページ「使役形の作り方」

私は試験に合格して、父を喜ばせた。

\*私：試験に合格したよ。

父：よかったな。久しぶりにいいニュースを聞いて、うれしいよ。

▶ 「失望する」「感心する」「怖がる」「安心する」など、感情を表す動詞の前では「を」を使う。

(The preposition 「を」 is used before the words that show emotion such as 「失望する」「感心する」「怖がる」「安心する」. / 「失望する」「感心する」「怖がる」「安心する」等表示情绪的动词前, 使用「を」. / 「失望する」「感心する」「怖がる」「安心する」등, 감정을 나타내는 동사 앞에서는 「を」를 사용한다.)

その俳優はスキャンダルを起こし、多くのファンを失望させた。

✕ その俳優はスキャンダルを起こし、多くのファンに失望させた。

■■■ 練習2. 正しいほうを選びなさい。

- (1) 道路が<sup>こ</sup>込んでいたので、運転手が ( a. いらいらしている b. いらいらさせている )。
- (2) 兄は<sup>おもしろ</sup>面白いことを言って、みんなを ( a. <sup>わら</sup>笑った b. 笑わせた ) んです。
- (3) 私が重い病気になったので、<sup>りょうしん</sup>両親が ( a. <sup>しんぱい</sup>心配しました b. 心配させました )。
- (4) 私は、去年試験に<sup>お</sup>落ちて親を ( a. がっかりした b. がっかりさせた )。
- (5) 先生は<sup>こわ</sup>怖い話をして、子どもたちを ( a. 怖がった b. 怖がらせた )。
- (6) 小さい子どもが上手にピアノを<sup>ひ</sup>弾くので、みんなが ( a. <sup>かんしん</sup>感心した b. 感心させた )。
- (7) 部下が<sup>ぶか</sup>何度も<sup>ちこく</sup>遅刻したので、<sup>かちょう</sup>課長が ( a. 怒った b. 怒らせた )。
- (8) 子どもは<sup>あぶ</sup>危ない<sup>あそ</sup>遊びをして母親を ( a. はらはらした b. はらはらさせた )。
- (9) 学生の<sup>せいせき</sup>成績が急に<sup>の</sup>伸びたので、先生が ( a. <sup>おどろ</sup>驚いた b. 驚かせた ) そうです。
- (10) 兄はひどいことを言って、妹を ( a. 泣いた b. 泣かせた )。

どう

違う? 3

「聞いてください」と「聞かせてください」

- ① 私の意見を聞いてください。
- ② あなたの意見を聞かせてください。

① ~てください

**意味** <sup>いらい</sup>依頼。

<sup>あいて</sup>相手が~することを<sup>きぼう</sup>希望する。(The speaker wants the other person to ~ to him/her. / 希望对方做某事。/)  
상대방이 ~하는 것을 희망한다.

**作り方** 動詞〔て形〕+ ください

聞いて + ください = 聞いてください

私は話したい。→ 私の話を聞いてください。(聞く人=ほかの人)

この記事を見てください。 \*見る人=ほかの人

ゆっくり話してください。 \*話す人=ほかの人

## 2 ~させていただきます

**意味** めいれい 命令の意味がない使役文。しえきぶん (Causative without an imperative meaning. / 不包含命令含义的使役句。/ 명령의 의미가 없는 사역문.)  
ていねい 相手に丁寧に依頼するときの表現。ひょうげん (Expression used when asking the other person politely. / 表示礼貌地要求做某事。/ 상대방에게 정중하게 의뢰할 때 사용하는 표현.)

**作り方** しえきけい 使役形〔て形〕＋ください

- あした休ませてください。 \*私はあした休みたい。休む人=自分
- 私にこの仕事を担当させていただきます。たんとう \*私はこの仕事を担当したい。仕事をする人=自分
- お話を聞かせてください。 \*私は話を聞きたい。話を聞く人=自分
- 部下：課長、今日はこれで帰らせていただきます。  
課長：あ、ご苦労さまでした。
- A：この電話、使わせていただいてもよろしいでしょうか。  
B：はい、どうぞ。

▶この文型は丁寧さによっていろいろな表現がある。

(The sentence form has many types of expression according to the politeness level. / 根据礼貌程度不同, 这个句型有不同表达方法。/ 이 문형은 정중함의 정도에 따라 여러 표현이 있다.)

- 先生、この資料、コピーさせていただきますませんか。しりょう
- では、次の議題に移らせていただきたいんですが、よろしいでしょうか。ぎだい うつ
- 本日は都合により臨時休業させていただきます。りんじ
- ご結婚おめでとうございます。喜んで出席させていただきます。 \*手紙文よろこ しゅっせき
- この仕事はぜひ我が社にやらせてください。わがしゃ
- A：どうぞお座りください。すわ  
B：ありがとうございます。では、遠慮なく座らせてもらいますよ。えんりょ
- 次は僕にゲームをやらせてよ。つぎ ぼく

### ■■■ 練習3. 正しいほうを選びなさい。

- (1) 聞こえません。もっと大きい声で ( a. 言って b. 言わせて ) ください。
- (2) 頭が痛いので、今日は ( a. 休んで b. 休ませて ) ください。いた
- (3) あ、面白そうなゲームだね。僕にも ( a. やって b. やらせて )。おもしろ ぼく

- (4) どんな漢字ですか。ちょっと ( a. 書いて b. 書かせて ) ください。
- (5) 順番じんばんに呼よびますから、ここで ( a. 待って b. 待たせて ) ください。
- (6) 僕も歌うたいたいな。次つぎは僕ぼくに ( a. 歌って b. 歌わせて ) 。
- (7) あ、そこでたばこたばこを吸すっている方かた、ここは禁煙きんえんです。たばこは外ぐわいで ( a. 吸って b. 吸わせて ) ください。
- (8) すみません。子どもこどもが熱ねつを出だしたので、( a. 早退そうたいして b. 早退そうたいさせて ) ください。
- (9) あの人はどなたどなたですか。( a. 紹介しょうかいして b. 紹介しょうかいさせて ) ください。
- (10) 先生せんせいのご本ごほんですか。ぜひ ( a. 読んで b. 読ませ ) てください。

## 要点整理

「使役」：立場しえきの強い人 (A) が命令して、下の人 (B) が何かをする。Aが主語になる。

(Explanation: The stronger position person (A) gives an order, the lower person B does something. A is the subject. / 地位高たいちこうの人 (A) 命令地位相対低めいれいたいちさうたいていの人 (B) 做某事。A为主语。 / 입장입장이 강한 사람 (A) 이 명령하고, 아랫사람 (B) 이 무엇인가를 한다. A가 주어가 된다.)

### ●使役形の作り方

動詞 <small>どうし</small>	辞書形 <small>じしょけい</small>	使役形
I グループ	書く	書かない + せる = 書かせる
	読む	読まない + せる = 読ませる
II グループ	見る	見ない + させる = 見させる
	つける	つけない + させる = つけさせる
	食べる	食べない + させる = 食べさせる
III グループ (不規則)	する	→ させる
	来る	→ 来させる

▶短い使役形もある。

- 書かせる = 書かす  
 読ませる = 読ます  
 食べさせる = 食べさす

▶使役形にならない動詞 (Verbs with no causative form / 以下動詞不能用于使役形 / )  
(사역형이 되지 않는 동사)

①ある／わかる／<sup>い</sup>要る／<sup>え</sup>見える／<sup>か</sup>聞こえる／<sup>か</sup>できる などの動詞、<sup>か</sup>可能動詞

(Be/understand/need/see/hear/be able and other potential verbs / 有 / 明白 / 需要 / 看得见 / 听得见 / 会, 等等动词, 以及可能动词. / )  
(있다 / 이해하다 / 필요하다 / 보이다 / 들리다 / 가능하다 등의 동사, 가능동사.)

②他動詞を持つ自動詞 (Intransitive verbs which have transitive forms / 有相对应他動詞的自動詞 / 타동사를 가진 자동사)

ドアが<sup>あ</sup>開く : ドアを<sup>あ</sup>開ける

× 子どもにドアを開かせる。

☑ 子どもにドアを開けさせる。

## ●使役文の作り方と使い方

### ①「AはBをVせる／させる」

V = 自動詞 (intransitive verb / 自動詞 / 자동사) の場合

Aの<sup>めいれい</sup>命令でBはVする。 (A tells B to do something, so B does that thing. / 在A的命令下, B做某事. / A의 명령으로 B는 V 한다.)

☑ 先生は学生を走らせました。

\*先生 : 走れ、止まるな! 走れ!

学生 : (いやだな。)

先生は「走れ」と命令しました。学生は走りました。

### ②「AはBに～をVせる／させる」

V = 他動詞 (transitive verb / 他動詞 / 타동사) の場合

Aの<sup>めいれい</sup>命令でBはVする。 (A tells B to do something, so B does that thing. / 在A的命令下, B做某事. / A의 명령으로 B는 V 한다.)

☑ 母は子どもに牛乳とパンを買ってこさせる。

\*母 : 今日、帰りに牛乳とパンを買ってきてね。

子 : うん。(子どもは牛乳とパンを買ってくる。)

▶他動詞の場合は「電話をかける」のように「を」があるので、「人を」を「人に」に変える。

(In the case of a transitive verb sentence such as 電話をかける, the「を」 which indicates the actor becomes「に」. / 当句中出現他動詞時, 如「電話をかける」, 在这个詞組中有「を」, 所以在表示使役對象的時候不用「人を」, 而應該用「人に」。 / 타동사의 경우는「電話をかける」와 같이「を」가 있으므로, 「人を」를 「人に」로 바꾼다.)

☑ 父は母に電話をかけさせた。

\*父 : ちょっと電話をかけてくれないか。

母 : はい。(母は電話をかける。)

× 父は母を電話をかけさせた。

▶<sup>あいて</sup>相手が上の人の場合は、使役形でなく、「～ていただく」を使う。

(Where the other person is a superior person the 「～ていただく」 form is used rather than the causative. / 当対象是地位比自己高的人的时候, 不能使用使役态, 而应使用「～ていただく」。 / 상대방이 위사람일 경우는 사역형이 아니라「～ていただく」를 사용한다.)

× 社長にスピーチをさせた。

☑ 社長にスピーチをしていただいた。

### ③ AはV<sub>1</sub>をする。BがV<sub>2</sub>をする。→「AはBをV<sub>2</sub>せる／させる」

Aが何かする。すると自然にBがVする。

(A does something. As a result, B does something. / 在A的某种行为的影响下, B自然而然地进行某种动作。 / A가 무엇인가를 한다. 그러면 저절로 B가 V 한다.)

▶ V<sub>2</sub>には感情を表す動詞が来ることが多い。

私は面白いことを言った。友達<sup>ともだち</sup>は笑<sup>わら</sup>った。→ 私は友達を笑<sup>わら</sup>させた。

弟は食べるのが遅<sup>おそ</sup>い。母はいらいらする。→ 弟は母をいらいらさせる。

兄はよく会社<sup>おく</sup>に遅<sup>かちよう</sup>れた。課長<sup>おこ</sup>は怒<sup>おこ</sup>った。→ 兄は課長を怒<sup>おこ</sup>らせた。

- あの人はいつも面白いことを言って友達を笑わせるんです。
- 兄はよく会社に遅刻して、課長を怒らせているらしい。
- 男の子はいたずらばかりして、母親をはらはらさせるものだ。
- 私は子どものころ食べるのが遅くて、母をいらいらさせていた。

### ④ 「AはBに／をVせる／させる」

AはBがVするのを、そのまま自由にする。(A lets B do as he/she wishes. / A放任或允许B做某事。 / A는 B가 V 하는 것을 그대로 둔다.)

きのは天気<sup>てんき</sup>がよかったので、子どもを一日中外で遊ばせました。

子どもに食べたいものを好きなだけ食べさせてやりたいんですが、家が貧乏<sup>びんぼう</sup>で無理<sup>むり</sup>なんです。

外国の大学<sup>ほくりつ</sup>で法律<sup>ほりつ</sup>の勉強<sup>べんきやう</sup>がしたいというので、息子<sup>むすこ</sup>を留學<sup>りやうがく</sup>させました。

子ども：アイスクリーム<sup>と</sup>が溶けちゃったよ。

母 親：冷凍庫<sup>れいとうこ</sup>に入れて、もう一度凍らせなさい。

▶ 「そのまま」「～ておく」「自由に」などと一緒<sup>いっしょ</sup>に使うことが多い。

(Often used with 「そのまま」「～ておく」「自由に」. / 多和「そのまま」「～ておく」「自由に」等词一起使用。 / 「そのまま」「～ておく」「自由に」와 같이 사용하는 경우가 많다.)

このまま彼にお酒<sup>さけ</sup>を飲ませておいたら、病気になってしまう。

子どもに自由におもちゃ<sup>おもちゃ</sup>を選ばせます。

悪口を言いたい人には言わせておけばいいんです。

▶ 本人の意思で何かをする場合は「に」をとることが多い。

(Often 「に」 is used where someone does something because of their wishes. / 因本人的意愿做某事时, 使役对象一般用「に」表示。 / 본인의 의사로 무엇인가를 할 경우에는 「に」를 사용하는 경우가 많다.)

妻<sup>つま</sup>が「私も働きたい」と言うので、妻に働かせているんです。

\* 経済的な問題から妻を働かせているのではない。妻が自分の意思で働いている。

- 子どもがしたいということを、子どもにさせたらいいでしょう。子どもの人生ですから。

### ⑤ 「AはBをVせる／させる」

AはBがVしたことに責任を感じている。(A feels responsibility for B. / A 对于 B 所做的事情感到负有一定责任. / A는 B가 V 한 것에 책임을 느낀다.)

- 私はペットを死なせてしまった。

\* 「私をもっと注意していれば死ななかったのに」と感じている。

- 私は息子を一流小学校に入学させた。

\* 「私がかんばったからだ」と感じている。

▶ 「～てしまう」と一緒に使うことが多い。(Often used together with 「～てしまう」. / 多和「～てしまう」一起使用. / 「～てしまう」와 같이 사용하는 경우가 많다.)

- 彼の成功を信じて励まし続けたが、それがかえって彼を苦しませてしまった。

### ○ 「AはNをVせる／させる」

他動詞のように使われる使役形もある。(There are cases where a causative verb can be used as a transitive verb. / 使役型有时也用做他动词. / 타동사처럼 사용되는 사역형도 있다.)

- 子どもは目を輝かせて、クリスマスツリーを見上げている。

- 泥棒は、ナイフを光らせて近づいてきた。

- この病気を治すにはもっと医学を進歩させることが必要だ。

## まとめドリル

### 問題 1 使役形に書きかえなさい。

(例) 食べる → ( 食べさせる )

(1) 働く → ( ) (2) 立つ → ( )

(3) 帰る → ( ) (4) 来る → ( )

(5) 笑う → ( ) (6) いる → ( )

(7) 急ぐ → ( ) (8) 疲れる → ( )

(9) 座る → ( ) (10) 喜ぶ → ( )

(11) 休む → ( ) (12) 心配する → ( )

(13) 怒る → ( ) (14) 困る → ( )



- (15) 答える → ( )
- (16) 持ってくる → ( )
- (17) 本を読む → ( )
- (18) ピアノを弾く → ( )
- (19) 練習れんしゅうを続つづげる → ( )
- (20) 同じことを言う → ( )
- (21) レポートを出す → ( )
- (22) 窓まどを開あける → ( )
- (23) 電話をする → ( )
- (24) 文なを直なおす → ( )
- (25) 電気をつける → ( )
- (26) かばんを運ぶ → ( )
- (27) 皿さらを洗あらう → ( )
- (28) テレビを消けす → ( )
- (29) 荷物にもつを持つ → ( )
- (30) ごみを捨すてる → ( )

**問題 2** 2つの文を、使役形を使って一つの文に書きかえなさい。

(例) 先生は「立て」と命令めいれいしました。学生は立ちました。

→ 先生は 学生を立たせました。

(1) 父親は「学校へ行け」と言いました。子どもは学校へ行きました。

→ 父親は \_\_\_\_\_。

(2) 先生は「本を読め」と言いました。学生は本を読みました。

→ 先生は \_\_\_\_\_。

(3) 私は「来い」と命令しました。犬は来ました。

→ 私は\_\_\_\_\_。

(4) 課長は「レポートを書け」と命令しました。青木さんはレポートを書きました。

→ 課長は\_\_\_\_\_。

(5) 兄は「テレビを消せ」と言いました。妹はテレビを消しました。

→ 兄は\_\_\_\_\_。

(6) 父親は「外で遊べ」と命令しました。子どもは外で遊びました。

→ 父親は\_\_\_\_\_。

(7) 監督は「ボールを蹴る練習をしろ」と命令しました。選手はボールを蹴る練習をしました。

→ 監督は\_\_\_\_\_。

(8) 監督は「10分休め」と命令しました。選手は10分休みました。

→ 監督は\_\_\_\_\_。

(9) 私は「新聞を取ってこい」と命令しました。犬は新聞を取ってきました。

→ 私は\_\_\_\_\_。

(10) 父親は「野菜を食べろ」と命令しました。子どもは野菜を食べました。

→ 父親は\_\_\_\_\_。

(11) 先生は生徒に「並びなさい」と命令しました。生徒は並びました。

→ 先生は\_\_\_\_\_。

(12) 先生は「机を並べなさい」と命令しました。学生は机を並べました。

→ 先生は\_\_\_\_\_。

(13) 先生は「すぐ家に帰りなさい」と命令しました。学生は家に帰りました。

→ 先生は\_\_\_\_\_。

(14) 母親は「部屋を片付けなさい」と命令しました。子どもは部屋を片付けました。

→ 母親は\_\_\_\_\_。

(15) 母親は「荷物を持ちなさい」と命令しました。子どもは荷物を持ちました。

→ 母親は\_\_\_\_\_。

**問題 3** 使役形を使って、答えの文を完成させなさい。

(例) Q: 学生が「資料しりょうを持って帰りたい」と言っていますが、許可きょかしますか。

A: いいえ、学生に資料を持って帰らせません。

(1) Q: 子どもが「チョコレートを食べたい」と言っていますが、許可しますか。

A: いいえ、子どもに\_\_\_\_\_。

(2) Q: 社員れいぼうが「冷房けを消したい」と言っていますが、許可しますか。

A: いいえ、社員に\_\_\_\_\_。

(3) Q: 患者かんじゃが「酒さけを飲みたい」と言っていますが、許可しますか。

A: いいえ、患者に\_\_\_\_\_。

(4) Q: 学生が「試験中じしよに辞書を見たい」と言っていますが、許可しますか。

A: いいえ、学生に\_\_\_\_\_。

(5) Q: 選手せんしゆが「練習を始めたい」と言っていますが、許可しますか。

A: いいえ、選手に\_\_\_\_\_。

(6) Q: 池田いけださんが「会社の車を私用で使いたい」と言っていますが、許可しますか。

A: いいえ、池田さんに\_\_\_\_\_。